

淞雲

第5号



(淡雪と寒椿)

特集 2 ● 図書館ホームページ解剖図

9 ● 本学教員著作等寄贈資料

附属図書館企画展示・講演会

10 ● 教育者としての小泉八雲（本館）

11 ● 島根にもたらされた華岡流医術（医学分館）

しまだい資料探訪（3）

12 ● 『たたら関係史料にみる鉄の流通』 相良英輔

14 ● 研修報告

15 ● 職員紹介

16 ● コラム 【TOEIC】

17 ● 図書館からのお知らせ

学生との懇談会 / 電子ジャーナル説明会 / 検索講習会
インターンシップ学生の受入 / 職員の名札着用 / 図書館見学
図書館システムリブレース / 学推会からの寄附 / 学生選書ツアー
図書購入リクエスト / 8：30開館の試行 / 雑誌製本データ入力
利用案内作成 / 閲覧機の増設・掲示板設置 / 本の交換広場

図書館ホームページ

解剖図

WWWサーバにより図書館ホームページが公開されたのは、1995年のことでした。その後、数度の改訂を重ね、学術情報の増大、多様化とともにメニューが充実され、情報検索は、教育研究活動になくてはならないものになっています。

今号では、今年5月に統合されリニューアルしたホームページを、

Step 1 なるほど、へえーそうなんだ

Step 2 こんな時は、ここをチェック！

Step 3 図書館からのお勧めメニューはこれ！

の3ステップで紹介していきます。必要なところだけを探して読むもよし、もちろんすべて読めば、情報収集の幅がぐんと広がります。役立つメニュー満載の図書館ホームページ、この特集で、ワンランク上の使い方をマスターしてください。

Step 1

なるほど、へえーそうなんだ

新着情報 (What's New?)

最新5件の新着情報が表示されます。過去のものを見たい時は「全表示」にあります。

開館時間

今日と明日の開館時間が確認でき、リンクから開館カレンダーが表示されます。

学内専用メニュー

*が付いているものは学内専用メニューのため、学外からは表示されません。

表示モード (閲覧範囲)

それぞれのキャンパス用に対応したメニューが表示されます。

サイト検索ボックス

ホームページ内の情報をキーワードで検索することができます。

蔵書検索ボックス

簡易検索ならここでもOK。本館、分館、統合検索もできます。

メニュー内容表示

メニューにカーソルをあわせると、内容が表示されます。



情報検索 お知らせ サービス を表します。

メニュー		内 容
データ ベース	分野別一覧	利用できるデータベース (DB) を、文学、心理学、医学・薬学、環境などの分野ごとに分けました。 たとえば「法律」分野では、主要法律雑誌 [CD/DVD] / 判例体系 [Web] / 現行法規 [Web] / 法律判例文献情報 [Web] などが利用できます。

	Webデータベース一覧	フリーのものも含めて、文献検索に役立ちそうなWeb上のDBを集めました。  ERIC（教育学関係）、PubMed（医学・看護学関係）など、有料データベースに負けない機能を持つものもあります。
	CD/DVD一覧	利用できるCD/DVDを、まず一覧で確認しましょう。主なものとして、新聞や国内の文献情報などが利用できます。  日本語で検索できるものが多いので、文献検索の練習にも最適。いきなり英語の電子ジャーナルは…という方は、ここから始めてみてはいかがでしょうか。
	CD/DVD検索	CD/DVD検索はこちらから。  CD/DVD検索は、メタフレームというWindowsサーバを利用するためのシステムで運用しているので、最初に利用する時はまず設定が必要です。接続するには、総合情報処理センター発行の利用者IDとパスワードが必要です。
	Scopus（スコパス）	STM（自然科学、技術・工学、医学）分野が中心ですが、社会科学、心理学及び経済学なども含んだ、引用文献を検索するためのデータベースです。  OPAC（Online Public Access Catalog）とリンクしているので、所蔵検索もできます。また、Web情報が同時に検索・表示されます。
	トライアル情報	現在トライアル（無料お試し）中のデータベースが利用できます。

電子ジャーナル	電子ジャーナル検索	タイトル順、分野別、出版社別のリストを作成しています。あらかじめ雑誌のタイトルがわかっている場合は、アルファベット順のリストから簡単に行き着くことができます。  同じ雑誌でも、提供している出版社の違いで、収録年等の異なるサイトが複数存在するものがあります。また、発行年の古いものは対象外の場合もありますので、利用できる巻号、年を確認しましょう。
	その他の電子ジャーナル	オープンアクセス（フリー）の電子ジャーナルや、国内の電子ジャーナルを集めました。  BioMed Central（米国）では、100以上の医学・生物系のオープンアクセスジャーナルを発行しています。ピアレビュー（同分野の学者による審査）された論文のみが掲載されています。
	リンク集	出版社でまとめて見たい場合は、ここからが便利です。
	電子資料の学外利用	Elsevier社のScienceDirect、Springer Verlag社のLINKなど、学外からでも利用できる電子ジャーナルがあります。

利用案内	本館 医学分館	利用時間や貸出・返却、資料などについて、図書館を利用するための基本的なことが分かります。
	FAQ（よくある質問）	ここを見れば、知りたいことがすぐわかるかも。
	学外の方へ	図書館は学外の方も利用できます。学内利用者と同じように「図書館利用証」を発行し、図書を借りたり、複写サービスを受けたりすることもできますが、利用できる範囲が若干異なります。
	学術情報リテラシー	図書館で開催した電子ジャーナルやデータベース利用説明会の様子を録画し、ビデオ配信しています。  説明会の様子をチャプター単位で分割編集したので、より見やすくなりました。説明会に参加できなくても、時間のある時にゆっくり学習することができます。

蔵書検索	統合OPAC 本館 医学分館	現在はキャンパスごとに別システムで検索が行われていますが、2006年3月に図書館システムが統合されると、同じインターフェース（画面）で全学の蔵書検索が可能となります。
	Webcat	国立情報学研究所（NII）が提供する総合目録データベースです。全国の大学や研究機関で所蔵している図書、雑誌の検索ができます。  さらに一歩進んだ"Webcat Plus"を使えば、思いついた言葉から検索（連想検索）でき、図書の目次なども表示されます。（Webcatの右上にボタンがあります。）

	NDL-OPAC	国立国会図書館（NDL）で所蔵する資料の検索ができます。図書、雑誌だけでなく、新聞、博士論文なども対象となっており、さすが国会図書館、資料の多さに驚きです。
申込み	図書購入依頼 （教員用）	科研費以外の、研究室予算等による図書の購入は、ここから申し込んでください。利用者IDとパスワードを入力後、選書データベースを利用して図書を検索し、購入依頼ができます。  資産とする図書の登録基準、購入に関するQ & Aも掲載していますのでご覧ください。ID、パスワードにより、教員個人ごとの図書購入状況（使用額、購入タイトル等）が確認できます。
	図書購入リクエスト （松江のみ）	本館で、購入希望図書のリクエストを受け付けています。選書データベースで図書を検索し、申し込んでください。申込者氏名がないものは受け付けませんので、メモ欄への入力をお忘れなく。
	図書購入リクエスト一覧 （松江のみ）	リクエストしていただいた図書の結果をお知らせします。図書の登録手続きが終わりましたら「利用できます」と表示します。  できるだけご希望にお応えしたいと思いますが、品切れ、内容、高額等のために希望に添えない場合もあります。採用された方、よろしかったらコメントなどお寄せください。
	学生用図書推薦リスト （出雲のみ）	医学分館で、各講座から学生用図書の推薦を受け付ける様式です。
	リユース図書	廃棄等の処分予定図書の、学内再利用申込みを受け付けています。  重複等の理由により図書館では不用図書ですが、まだ利用できるものがたくさんあります。ここからリストをご覧ください、希望がありましたらお申し込みください。（研究室貸出として扱います）
	電子資料の学外利用	利用できるものは限られますが、ここから学外利用の申請ができます。電子ジャーナルは、出版社によって利用上の制約が設けられていることが多いので、利用に際しては注意事項を厳守してください。
	本館への申込み 医学分館への申込み	来館されなくても、施設利用や文献複写の依頼等、Web上で申込みができます。
広 報	出版物	図書館で作成した館報、概要、ニュースなどを掲載しています。  図書館報、インフォ・アクセス（医学分館）、Lime（メールサービス）のバックナンバーをご覧になりませんか。役に立つ記事が見つかりますよ。
	統計	受入資料数、利用状況、ホームページへのアクセス件数など、図書館に関する統計データを掲載しています。
	ブログ	図書館の催しや活動などを写真付きで紹介しています。 こんなにいろんなこと、やっています！
コレク ション	島根大学研究紀要	島根大学で発行している紀要類を、Web上で見るができます。バックナンバーを含め、ほとんどの紀要の全文を検索、閲覧できます。（一部利用できないものがあります）
	遺跡資料 ホームページ	遺跡資料に関するデータ、リンク等を集めました。  島根は遺跡の宝庫。データベースは、考古学研究室や地域の協力を得ながら作成されており、貴重な文化財情報源となっています。
	小泉八雲 データベース	八雲に縁のある富山大学、熊本大学、島根大学が共同で構築したデータベースです。
	貴重資料デジタル アーカイブ	図書館で所蔵している古文書、古絵図などの貴重資料の保存、公開、利用に向けて、資料の電子化に取り組んでいます。  今秋開催の企画展示でも紹介された、古絵図やハーンの自筆書簡など、普段は見られない貴重資料が、デジタル資料として閲覧できます。

Step 2

こんな時は、ここをチェック！

レポートに必要なので、〇〇に関する雑誌論文を探したい

データベース または 電子ジャーナル

まず、調べたいテーマに関係するデータベースを検索してみましょう。

キーワード検索でかなりの数の論文がヒットしますので、適宜絞り込んでいきます。データベースの中には、各論文にリンクが張られているものがあります。そのまま電子ジャーナル(全文)を閲覧したり、OPACで島根大学の所蔵を確認できるというのは、Webならではの機能です。

国内発行の雑誌なら、「MAGAZINEPLUS」(雑誌記事索引)が断然便利です。

〇〇に関する新聞記事を探したい

①データベース→ CD/DVD一覧→ 新聞
②データベース→ Webデータベース一覧→ 朝日新聞DNA

①は、朝日新聞や毎日新聞の記事をキーワードで探すことができますが、2003年までが対象。

②の「朝日新聞DNA」は、1984年8月から当日の朝刊までが対象になっていますので、最近の記事を探したいときにはこちらをどうぞ。

過去の新聞は原紙や縮刷版も所蔵していますが、特定のテーマについて紙をめくりながら記事を集めるのは、なかなか大変な作業です。

図書館で買ってほしい図書がある

申込み→ 図書購入リクエスト (学生用)

あなた一人のための本…は買ってあげられませんが、みんなで利用できるお薦めの本がありましたらリクエストしてください。

過去のリクエスト結果については、「図書購入リクエスト一覧」をご覧ください。

文献複写の申し込みをしたい

(本館)申込み→ 本館への申込み→ 文献複写依頼
(分館)申込み→ 医学分館への申込み→ 文献オーダー

Webの画面から学外文献複写の申込みができます。本館の場合は、教員に限ります。

申込みの前には、学内に所蔵がないこと、電子ジャーナルが利用できないかをあらかじめ確認しておいてください。

□□年○月○日の△△新聞が見たい

利用案内→ 本館 (松江) → 新聞資料保存一覧

△△新聞を所蔵しているかどうか、該当年月日のものは保存されているかどうかを一覧表で確認してください。電子版が利用できるもの、原紙のほか縮刷版やマイクロフィルムで保存されているものもあります。

洋雑誌の「Science」は図書館へ行かないと見れないの？

電子ジャーナル→ 電子ジャーナル検索→ 『S』の項

学術雑誌で世界的に有名な「Science」は、2種類の電子ジャーナルを利用することができます。ひとつは「JSTOR」で創刊号から1999年までを、もうひとつは「Science online」で1995年から最新号までを見ることができます。

電子ジャーナルは図書館へ出向かなくても、学内LAN接続のパソコンで閲覧し、最寄りのプリンターでプリントアウトができます。

家のパソコンからでも検索できるの？

①蔵書検索 → 統合OPAC
②トップページ → 蔵書検索ボックス

蔵書検索は、学内と同様にできます。

データベース検索や電子ジャーナルの利用などで、メニューの後ろに「*」がついているものは学内専用のサービスですので、学外では利用できません。

〇〇に関する判例を探したい

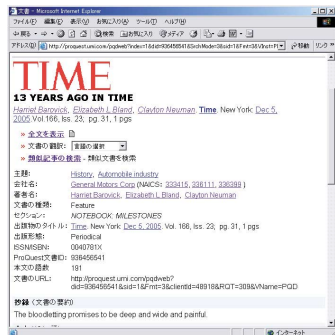
データベース→ Webデータベース一覧→ 判例体系[Web版]

法律関係のデータベースはいろいろありますが、判例の検索といえば「判例体系」。キーワードのほか、判決年月日、裁判所名などからでも検索でき、要旨や全文を見ることができます。

インパクトファクターを知りたい データベース→ Webデータベース一覧→ J C R (ISI) 雑誌評価の指標の一つであるインパクトファクターは、Journal Citation Reportsを使って調べることができます。上記からISI Web of Knowledgeのホームページが開きますので、"Journal Citation Reports"を"Go!" またここから、全分野の外国雑誌論文が検索できるCurrent Contents Connectも利用できます。	〇〇という雑誌の目次（コンテンツ）が見たい データベース→ Webデータベース一覧→ Current Contents Connect (ISI) Current Contents Connectはまさにそのためのデータベースで、論文検索、目次・抄録の閲覧、電子ジャーナルなどのフルテキストへのリンク機能などが利用できます。 国内発行の雑誌なら「MAGAZINEPLUS」や、最近では、目次部分であれば無料でアクセスできる学会や出版社も増えています。
自分の書いた論文がどれくらい引用されているか知りたい データベース→ Webデータベース一覧→ Scopus Scopusは、多彩な引用機能を備えた大規模文献データベースです。引用論文へのリンクだけでなく、参考文献へのリンク、対象論文と参考文献を共有する文献へのリンクなど、研究動向の把握にも役立ちます。	図書館報のバックナンバーが見たい 広報→ 出版物→ 図書館報 現在刊行中の「淞雲」（創刊号～第4号）と、前誌にあたる旧島根大学の「松風」のバックナンバーを見ることができます。医学分館で発行している「インフォ・アクセス」も掲載しています。
ビデオやDVDを利用したいけど、どんなものがあるの 利用案内→ 本館→ ビデオ・DVD資料一覧 本館・分館とも多数のビデオテープやDVDなどを所蔵しています。本館では上記に資料一覧を掲載しています。 語学の学習や、たまには音楽鑑賞、映画鑑賞はいかがですか。利用したい時はカウンターへ申し込んでください。	図書館って、どんな企画や活動をやってるの？ ①トップページ→ 新着情報 ②広報→ 企画 または ブログ 「こんなことやりますよ」という最新の情報は、新着情報をチェックしてください。すでに終了した企画や活動は、最近流行のブログに、写真付きで紹介しています。 今までになかった新しい企画や、学生参加のものもありますので、時々チェックしてみてください。
「△△」という本は図書館にあるの？あるならどこに？ ①蔵書検索→ 統合OPAC ②トップページ→ 蔵書検索ボックス タイトルなどキーワードを入力すると、一度に本館（松江キャンパス）と医学分館（出雲キャンパス）を検索でき、所蔵していれば所在（どこにあるか）が表示されます。図書は分類番号順に並んでいるので、番号も控えておきましょう。 図書館の本であれば、松江・出雲キャンパス間での貸出もできます。他キャンパスの図書の貸出を希望される時は、カウンターへ申し込んでください。	「□□」という本は島根大学にないけど、ほかに持っているところは？ 蔵書検索→ Webcat や NDL-OPAC Webcatは全国の大学や研究機関の所蔵を、また、NDL-OPACは国立国会図書館の所蔵する資料を検索することができます。図書だけでなく雑誌も対象となっています。 他館所蔵図書の利用を希望される時は、カウンターへ申し込んでください。

Step 3

図書館からのお薦めメニューはこれ！



学術雑誌以外の「電子ジャーナル」を読む

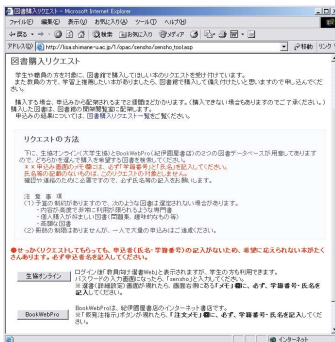
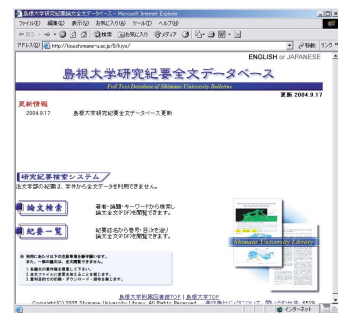
電子ジャーナル → 電子ジャーナル検索

電子ジャーナルで読めるのは学術雑誌ばかりではありません。「電子ジャーナル検索」から入ると、「タイトルの頭文字」が出てきます。ここで馴染みのある雑誌の頭文字をクリックするか、「Key Word」に雑誌の名前（その一部でもOKです。）を入れてみましょう。TIME, NEWSWEEKなどの記事も読むことができます。

島根大学研究紀要（全文）

コレクション → 島根大学研究紀要（全文）

島根大学の発行している紀要（一部例外もあります）がホームページで全文読めるって知ってますか？ 著者名やキーワードで検索することができるので、紀要名や巻号が不明な場合も簡単に探すことができます。



私だって頼みたい「図書購入リクエスト」

申込み → 図書購入リクエスト（学生用）

自分で作っという言うのもなんですが、結構イケてると思います。たくさんの方に利用してもらいたいのはやまやまですが、予算も限られているので、あまりたくさんのリクエストがあると困っちゃうかも。時々「ええー、これはどうしょお…」というリクエストもありますが、「お願い、買って！」という顔が浮かぶので、うーん、と唸って買ってしまうのです。

携帯電話で開館時間をチェックできます

<http://lisa.shimane-u.ac.jp/k/>

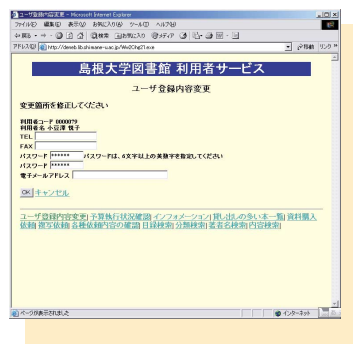
携帯電話からアクセスできるURLアドレスを用意しています。今日は何時まで開館しているか知りたいときは携帯電話で確認しましょう。（カメラ付き携帯で簡単アクセス！）

便利な「サイト検索」

トップページの「サイト検索ボックス」

図書館ホームページ内で、「こんな情報を知りたいが、どこをみればよいのかわからない」というときは、ここへキーワードを直接入力してみてください。リンクをたどるより早く目的の項目へたどり着ける場合もあります。





メールアドレスを登録しておく と 便利 (本館)

申込み → 本館(松江)への申込み → ユーザ登録内容変更 (松江)

利用者コードとパスワードでログインし、電子メールアドレスの欄に入力しておけば、例えば貸出中の図書で予約した本が返却されたとか、図書購入リクエストをした本が利用可能となった際、希望すれば図書館からメールでお知らせが入ります。

(携帯でも可能です)

日本語論文検索のスグレモノ「MAGAZINEPLUS」

Webデータベース一覧 → MAGAZINEPLUS(雑誌記事索引)

OPACなどで専門用語を検索しようとしてもヒットしないことがよくあります。そんなときは、コレ！！

MAGAZINEPLUSにアクセスし、探したいキーワードを入力してみてください。きっと読みたい論文が見つかります。島根大学の所蔵ともリンクしていますので、読みたい論文が載った雑誌が学内にあるかどうか分かります。

ただし、回線数に限りがありますので、最後に必ずログアウトしてください(^_^;)。

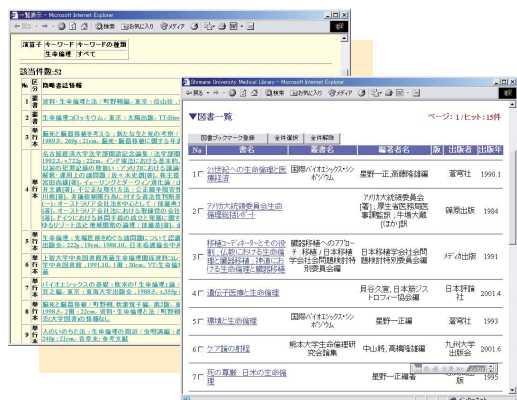


結構奥が深い「蔵書検索」

トップページの「蔵書検索ボックス」

トップページWhat's Newの下に蔵書検索があります。松江,出雲両方をチェックして、キーワードを入力すると本館,分館の蔵書検索を同時にしてくれます。それぞれに蔵書検索したいときは、検索語を入れずにいきなり蔵書検索ボタンを押してみてください。チェックした方のOPAC画面が出てきます。メニューにある蔵書検索は、OPACのためだけではありません。図書,雑誌に関するお知らせや情報が入っています。

ex:新着図書,寄贈図書,貸出ランキング…



「どうすればいいのかなぁ?」と思ったら

利用案内 → F A Q (よくある質問)

よくいただく質問とその回答を載せています。とりあえずここを見て、それでもわからないことがあれば、カウンターへ尋ねてください。





たまにはひと息ついて

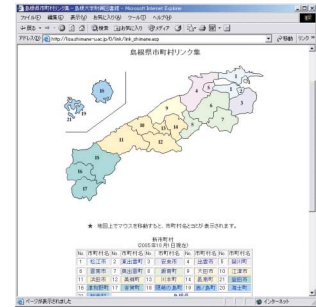
利用案内 → 本館（松江） → DVD資料一覧

図書館で映画のDVDを観ることができます！ちょっと時間があいた時などに利用してみてはいかがでしょうか？

島根県のことを調べるには

リンク → 島根県内の情報 → 島根県市町村リンク集

レポート作成などで、島根県の統計などを調べることは多いはず。「島根県市町村リンク集」からは、島根県内の市町村ホームページへアクセスできます。



ホームページは便利ですが、万能ではありません。図書館内には、ネット上に存在しない情報もたくさんあります。検索しても見つからなかったとあきらめないで、そんな時はカウンターに相談してください。目録などの冊子で探す方法も覚えれば、資料探しの技はさらに万全なものになるでしょう。

本学教員著作等寄贈資料紹介（平成17年4月～11月受入）



ご寄贈くださいました先生方に厚く御礼申し上げます。
今後とも著作等を刊行の際には、図書館にご寄贈くださいますようお願いいたします。

渡邊貞幸（法文学部）	人生に素風有り(入谷先生追悼文集)	本館
	街道の日本史 38.出雲と石見銀山街道	〃
伊藤 融（法文学部）	グローバル化とアジアの現実	〃
	英国近代刑罰法制の確立	〃
三宅孝之（法務研究科）	刑事政策講義 第2版	〃
	刑事政策講義 第3版	〃
福田哲之（教育学部）	竹簡が語る古代中国思想	〃
竹田健二（教育学部）		〃
榎原 茂（教育学部）	たたかう民衆の世界	〃
作野広和（教育学部）	最後の穴道町地誌	〃
鈴木 隆（法務研究科）	労働六法2005	〃
境 英俊（教育学部）	島根県剣道連盟五十年史	〃
相良英輔（教育学部）	街道の日本史 38.出雲と石見銀山街道	〃
松塚豊茂（名誉教授）	光を聞く:生・老・病・死	〃
田中瑩一（名誉教授）	口承文芸の表現研究:昔話と田植歌	〃
	内科学レビュー:最新主要文献と解説	医学分館
小林祥泰(医学部)	脳卒中データバンク2005	〃
	内科疾患診療マニュアル	〃
	WM臨床研修サバイバルガイド:神経内科	〃
橋本道男(医学部)	脂質栄養と健康	〃
北垣 一(医学部)	ポケットブック画像診断入門	〃

附属図書館 企画展示・講演会

教育者としての小泉八雲

2005年10月1日(土)～9日(日) 於：本館

小泉八雲企画展示プロジェクト
ワーキンググループ

附属図書館本館では、1890年(明治23年)にアメリカから来日後、島根県尋常中学校及び島根師範学校(教育学部の前身)で、英語教師として初めて教鞭を執ったラフカディオ・ハーン(1850-1904, 帰化名一小泉八雲)の企画展示を、10月1日から9日まで、松江キャンパスの大学祭(淞風祭)にあわせて開催しました。

今回の企画展示では、松江で教師生活を始めたラフカディオ・ハーンについて、島根県尋常中学校教頭の西田千太郎の協力を得て教育者として開眼する精神の軌跡を辿り、その後の熊本、東京での教師生活や日本理解の深化をさまざまな資料や講演を通して考える「教育者としての小泉八雲」をテーマとしました。地域連携企画としても、島根県立図書館、松江市立図書館、小泉八雲記念館及び八雲会など地域の関連機関から、資料提供や多大の協力を得ることができました。

展示資料は、ハーンの自筆書簡の他、親交のあった西田千太郎関係資料、英作文添削記録、東大での講義ノート、家庭教育資料、作品原稿、写真、セル絵、新聞記事など約150点を配置し、県内外から425名の方々が見学に訪れました。

10月8日、教育学部高瀬彰典教授の司会のもと、池野誠中国・河北師範大学客員教授、池橋達雄島根史学会会長、西川盛雄熊本大学教育学部教授、池田雅之早稲田大学国際言語文化研究所所長の4氏の講演及び八雲の曾孫の小泉凡島根女子短期大学助教授をコメンテーターとしたシンポジウムには約80名の参加者があり、講演者との活発な意見交換もありました。

え、彼独自の人間観や世界観となって結実する様を検証しました。また、展示資料の多くの部分を占める自筆書簡については、ハーンの交友や文筆活動上の重要なファクターとしての役割なども紹介しました。これらの中には、本学附属図書館所蔵のものに加えて、広島大学、富山大学、東京大学、松江市立図書館等からお借りした貴重な自筆書簡も含まれています。



講演会・シンポジウム風景

書簡類はすべて電子化し、両面筆記のものも活字体、訳文付きの電子版として会場で展示しました。高精細なデジタル化は、パネルプレゼンや出版時の版下利用のほか、劣化が進行中の原資料記録・保存も兼ねています。

参加者からは、「地域と連携した良い企画、内容である」、「自筆書簡は初めて」、「画像資料が豊富で面白い」、「来年も続けて欲しい」、「常設展示を希望」等の感想が数多く寄せられました。

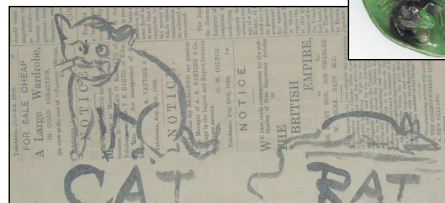


企画展示説明会

今回の企画展示や講演会・シンポジウムでは、「教育者としての小泉八雲」をメインテーマに、教師という職業が作家ハーンに新たな視点を与

<展示資料から>

ハーン愛用のペン皿、ペン先



ハーンが英語教材とした手書きのイラスト

【上記2点は小泉八雲記念館所蔵】

※自筆書簡を中心とした展示資料図録、講演録は近く出版予定です。

島根にもたらされた華岡流医術

—大森文庫から見た江戸後期の診療—

2005年10月3日(月)～9日(日) 於：医学分館

大森文庫展示公開プロジェクト
ワーキンググループ

医学分館では、10月3日から9日まで、所蔵する「大森文庫」を紹介した初めての展示会・講演会を開きました。

この企画は、島根医学史研究者である梶谷光弘出雲市立窪田小学校長のご協力のもと、10月8日・9日の医学部学園祭くえびこ祭に協賛して開催し、展示会・講演会にあわせ、大森文庫を紹介する8頁のパンフレットを作成、配布しました。

大森文庫は、1804年、世界に先駆けて全身麻酔による乳癌手術を成功させた華岡青洲とその一門に三代にわたって学び、帰国後、地元母里藩大塚（現・安来市）で開業した大森家旧蔵の史料です。373点555冊からなり、華岡流医術・薬方に係る史料群として、また、大森家が明治後期まで開いた医学塾「奇正軒」とその医療に係る史料として、華岡流医術とその地方伝播、華岡家と島根における医学教育、地域医療を内容とするものです。

1800年代は、日本の医学界が飛躍的な発展を遂げた時期でもありました。華岡家に学んだ島根出身者は32名を数えますが、本学医学部小林祥泰附属病院長の小林家から2名が学んでいるほか、シーボルトから医学修業の賞状（附属図書館所蔵）を授与された西山砂保も、華岡青洲門人の1人です。



展示会

医学分館長室をメイン会場に、7日間にわたって行われた展示会は、医学関連展示企画が珍しいこともあって、新聞、TV等のマスメディアにも紹介され、話題になりました。医学部教職員・学生および関係者、松江キャ

ンパスからの現地授業、安来市民、在野地方史研究者など、383名の方々の参観をいただきました。会場では、詳細な解説パネルをじっくりと読まれた上での質問や、掛軸の文言を筆写する参観者の姿なども見受けられました。



講演会

10月9日(日)には、看護学科棟N11番講義室で、梶谷先生による同名の講演会を開きました。90分にわたる講演では、スクリーン上で華岡家秘書や日記、全国各地からの華岡家門人一覧等が紹介され、江戸時代後期の医学と医学修行の様子、帰国後の島根の医療が語られ、遠い江戸時代の島根の医学・医療の様相に、生き生きと思いをはせることができました。講演会には66名の参加がありました。

展示物	数量	所蔵
解説パネル	17	医学分館
掛軸	5	医学分館・個人
額装	1	医学分館
大森文庫史料	55	医学分館
大森家史料	2	個人
医療器具類	多数	医学分館
記念切手	1	個人
参考資料	18	医学分館・個人
紹介パネル	3	医学分館

しまだい資料探訪 (第3回)

『たたら関係史料にみる鉄の流通』

相良 英輔（教育学部 共生社会科研究室）

1. 出雲におけるたたら製鉄の流通

近世期における島根地域は、出雲国、石見国ともに、たたら生産が盛んであった。そして島根のたたらは、近世の大坂のみならず、幕末には北陸・東北へ盛んに移出されていた。

奥出雲町上阿井・櫻井家所蔵の200通ほどの「仕切状」によると、櫻井家で生産された鉄は、幕末から明治初期にかけて、福井県九頭竜川河口の三国湊にあった問屋・宮腰屋に納入されていた。明治5年以降、宮腰屋が経営不振に陥ってからは、福井の坂井港、新潟港、能登の輪島港、山形の酒田港、秋田の土崎港、青森の鮭ヶ沢港などへ市場を広げている。

2. 田儀・櫻井家における鉄の流通

奥出雲の鉄は斐伊川から宍道湖、中海を通じて、美保関から大坂や北陸、東北方面に出荷された。出雲市多伎町の田儀櫻井家経営になるたたらは、神戸川支流田儀川が利用された。田儀櫻井家の産鉄は、田儀浦を主な積出港として他国へ販売されたが、田儀浦を拠点にした廻船業者に鳥屋尾家がある。鳥屋尾家は寛政元年(1789)にはすでに廻船活動を展開しており、幕末から明治にかけて幾徳丸、幾重丸などの廻船を所有している。鳥屋尾家所蔵443通の幕末・明治初期の「仕切状」によると、主な交易地は出雲、石見、長門のほか、能登、越中、越後などである。能登、越中、越後への主な販売品はやはり鉄である。

（仲野義文「田儀櫻井家の産鉄流通について」
多伎町教育委員会『田儀櫻井家』所収）

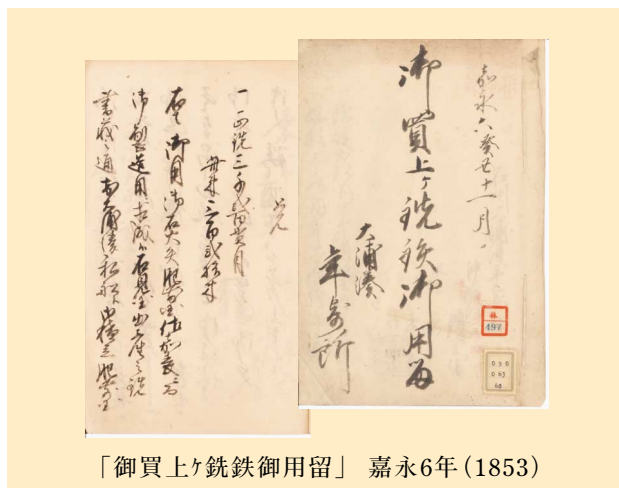
3. 石見におけるたたら製鉄

ところで、石見のたたら生産では、現在の邑南町矢上にある三宅家のたたらや、川本町の三上家（渡利屋）で経営していた土居原たたらが有名である。江津市桜江町・中村家文書の元禄15年(1702)「御請鉄員数留帳」は、江の川を下る鉄を、現在的美郷町にあった小原口の口番所地役人によって書き留められたものである。それによると、最も大きいと思われる川本村・十三郎の「請鉄」は781駄である。現在の邑南町八色石の安左衛門の「請鉄」は200駄である。近世中期のたたら生産であることから、その生

産はやや規模の小さいものであったことがわかる。邑智郡美郷町・中原家文書の天保8年(1837)「鉄山雑用かん定帳」は、銀山御領江の川筋たたらとして、17のたたら場をあげている。その「銑定高」（生産許可高）をみると、現在の江津市恵口御たたらは2600駄、土居原たたらは2550駄、他に1400駄～2200駄が11たたら、400駄が3たたらである。近世後期になると、農具や鋳物類など鉄の需要が大幅に増え、大量生産が要求されるようになった。そんな中で、天秤ふいごと高殿たたらによる大規模生産体制が整ってくる。

（道重哲男・相良英輔編『出雲と石見銀山街道』

吉川弘文館）



4. 石見における鉄の流通

さて、島根大学附属図書館所蔵の林家文書の中に、嘉永6年(1853)11月「御買上ヶ銑鉄御用留」がある。これは、現在の大田市五十猛にある大浦湊から出荷した石見産の鉄について記したものである。林家は、磯竹村大浦に居住する中世からの旧家であるが、近世には村年寄役のほか、大浦湊蔵宿として回船問屋を営んでいた。このため林家文書には、中世文書のほか、近世以降の海運関係史料がある。

大浦湊は、幕府直轄の銀山領(134カ村、4万5505石)に属す。銀山領の主な湊には温泉津湊と大浦湊があり、この二つの湊から銀山領の城

米が江戸・大坂へ輸送された。銀山領の城米は、江戸前期には主として温泉津から積み出されたが、江戸後期には大浦からも積み出されるようになった（『新修島根県史』通史篇一）。これは石見銀山領が銀山の衰退に伴い、それほど米の消費を必要としなくなり、江戸・大坂への年貢米移送が多くなり、城米積出港が温泉津のみならず大浦にも求められるようになったものである。林家文書の文政13年（1830）「浦差出明細書上帳」によると、大浦湊は家数199軒、人数は1042人である。商屋23軒があり、町場を形成していたことがわかる。それに江戸大坂御城米廻船定問屋一軒（土肥屋広右衛門）と御城米津出蔵宿八軒があった。このように、大浦湊は石見銀山領の二大城米積出港の一つとして、磯竹村の浦方を形成していた。

（上村雅洋「石見国銀山領の城米輸送」

柚木学編『日本海上交通史』所収）

そんな大浦湊の「御買上々銃鉄御用留」は、私たちに何を教えてくれるであろうか。同「史料」は、佐賀藩が大砲製造用に石見の銃鉄を注文してきたため、大浦湊年寄の広右衛門が、大浦湊から佐賀の諸富湊（筑後川河口を少し遡ったところ）へ2艘の船で銃鉄を運ぶことについて、「御役所」へ届け出た覚書きである。1艘は今浦の市右衛門船で、沖船頭助九郎と水主を含め3人乗りであり、正銃3200貫（320束）を積んでいた。もう1艘は大浦湊平衛門船で、沖船頭国兵衛と水主を含め4人乗りであり、正銃5600貫（560束）を積んでいた。



石州大浦湊波止之図（林家文書）

この2艘は、11月21日申刻（日暮時）大浦湊を出帆したが、2時間後には沖合で西風になり、出戻り入津している。そして12月2日まで12日間、西風や高波で滞船を余儀なくされ、

12月3日辰ノ刻（朝7-9時）順風になり、ようやく出帆している。当時の船が潮風や高波によって容易に滞船させられていたことがわかる。

ところで、佐賀藩は何故銃鉄を必要としたのであろうか。アヘン戦争（1840-42）で清国がイギリスに敗れたところから、幕府は外国の軍事力に脅威を感じ、洋式砲術を取り入れ、鉄製砲を備えるため、反射炉を用いた鋳砲技術の導入に踏み切った。嘉永3年（1850）、幕府に長崎防衛を命じられた佐賀藩は、日本で最初に反射炉の建設に着手した。その後、薩摩藩主島津斉彬は、佐賀藩主鍋島直正と従兄弟（二人の母親は鳥取藩主池田治道の娘）であったため、佐賀藩について同5年（1852）に反射炉と高炉建設に着手した。翌6年には、幕府自ら江川坦庵に命じて下田（のち韮山に移転）に反射炉をつくらせた。そして安政2年（1855）には水戸藩も反射炉の築造に着手するのである。

このような状況の中で、佐賀藩は佐賀城下の築地（現 佐賀市長瀬町）に2基4炉、田布施（現 佐賀市上田布施）に2基4炉、計4基8炉の反射炉を建設した。石見国大浦湊から移入した銃鉄は、これら反射炉から鉄製大砲を鋳造するための原材料だったのである。佐賀城本丸歴史館蔵の「御浦触 壱通」と「浦々請書帳 壱通」（「辰」とあり、安政3年と推定）によると、佐賀藩は、大砲鋳造用の銃鉄と鋼1万6761貫600匁を、石見国浦々において船積みして肥前国諸富湊まで運ぶため、石見国郷田浦（江の川河口）から肥前国諸富湊の浦々に協力するよう触れている。

5.近代以降の北前船とたたら製鉄

さて、日本海を航行する北前船がもっとも栄えたのは、幕末から明治13年頃までである。その一翼を大浦港も担っている。同じ林家文書の明治8年「仕出場仕向場元価取調簿」は、大浦港の船改所が入港した船の積荷について、仕出場とこれからの仕向場、積荷の代価を含めて記録しているものである。積荷の品物をみると、米に替わって雑多な品物が積まれている。天草からの黒砂糖、七島筵、大浦近辺のたたら場からの鉄や油粕、干鰯、尾道からの塩、三隅の生蠟、半紙などが目につく。なかでも、鉄の積荷がかなり多い。鉄の仕出場をみると、口田儀（現 出雲市）、宅野村（現 大田市仁摩町）、和江（現 大田市静間町）であり、いずれもたたら場を持っていた所である。仕向場は大坂と新潟が多い。

私たちは、出雲、石見いずれの鉄についても、どの市場へどのように運ばれていったかを究明しなければならない。それが、近世・近代島根の伝統的産業の歴史を明らかにするうえで重要である。

（さがら えいすけ）

平成 17 年度総合目録データベース 実務研修に参加して

医学情報管理係 山崎月子

国立情報学研究所 (NII) において平成 17 年 10 月 17 日～ 28 日に開催された標記研修に参加しました。2 週間という長丁場で、しかも目録研修ということでもかなりハードでしたが、充実感はいまだにないものでした。今年の参加者は 16 名でしたが、ほとんどの人が目録担当者でした。新規書誌作成の経験がほとんどなかった私は、皆さんの経験の豊富さと、知識の高さに圧倒されました。

NACSIS-CAT/ILL は日本で唯一の書誌ユーティリティで、全参加館の共同構築によって運用され、20 年あまりが経ちました。私が図書館勤務になった 10 年前には、すでに当たり前のものとして存在していました。目録担当者が一人しかいない、目録について継続的に勉強をしてない、そして目録以外の業務を抱えている私にとっては、新規書誌登録をするということは、技術的にも物理的にも無理なことだと思っていました。しかし研修を終えた今、共同構築の理念を認識・理解していなかったと反省しています。

また近年、書誌の品質低下、雑誌所蔵レコードの未更新などが問題になっていますが、目録規則、NII 目録コーディングマニュアルの習熟、正しい検索の必要性など、それぞれの大学での目録担当者の研修が必要だと痛感しました。これからますます定員が減られ、非常勤職員へのスライドや外部委託になっていくと思われますが、マニュアルや仕様書など、質の高いものを作っていくことも求められています。

この研修で一番集中し、おもしろかったのは、プレゼンテーション演習とグループ演習でした。プレゼンテーション演習では、これまで人前で話すなんて絶対に無理！と思い込んでいた自分の殻を、少し破れたかなと思います。

グループ演習は自分の仕事上の課題を出し合い、同じ課題をもった人とグループを作って問題点をまとめていくものです。「ラストスパート」、「やればできる」、「何とかなる」、と仲間同士励ましあい、正味 3 日という短期間でよくまとめられたというのが正直な感想です。これまで漠然としていた課題を、きちんと検証することもできました。

非日常的な 2 週間が終わった日には、開放感と共に、一抹の寂しさも味わいました。

この研修では、目録業務の最新の知識を身につけるという目的以外にも、物事を深く考えること、きちんと意見が言えること、そしてそれらをわかりやすく正確に伝えていくことの重要性を学ぶことができました。

分館の皆様には長い間ご迷惑をかけましたが、これからの仕事の上に少しでも成果を発揮できたらと思っています。

(やまさき つきこ)

第46回中国四国地区大学図書館 研究集会に参加して

医学情報サービス係 松浦めぐみ

研究発表テーマ

「大学図書館ホームページとポータル機能
ー学術情報ナビゲーション、
情報リテラシー支援、My Libraryー」

平成 17 年 10 月に香川大学で行われた研究集会で、上記のテーマで発表させていただきました。附属図書館の情報システムは平成 18 年 3 月に更新予定ですが、更新を機に、ホームページとの連携強化や My Library、ポータル、リポジトリ機能等への展開も検討中です。他大学の事例も交えながら検討課題を整理し、図書館ポータルの機能、役割について発表しました。

ポータルは、ホームページ上にある膨大な学術情報やサービスを、効率的に使うために準備された情報利用の入口です。利用者が必要としている情報に効率的にアクセスするための支援の有力な手段として、ナビゲーションやポータル機能が今後必須となるでしょう。

ポータルや My Library 機能の整備・充実のためには、学術情報リソースの整備及び利用環境の整備・充実が必須ですが、学術情報リテラシー支援体制の強化も必要です。将来的には、大学全体のサービスが利用できる My Page か学生ナビページ等により、大学での教育・研究・学習活動に不可欠なものとして、ポータルや My Library 機能を集約・統合する方向も考えられます。今後も図書館は、学生・教職員のみならずにとって使いやすいホームページを提供していき

いと思います。

研究集会では、「大学図書館の学習支援」というテーマで討議を行ないました。基調報告や実情報告、分科会などもあり、「利用者サービス面から考える学習支援」というテーマの分科会に参加しました。国立・公立・私立大学それぞれの大学でいろいろと工夫されている実情を知ることができて大変有意義でした。今回の研究集会で得た知識などを利用者のみなさんに還元できるように頑張りますので、宜しくお願いします。

(まつうら めぐみ)

- * My Library … ID・パスワードで入り、各利用者ごとに必要なサービス、情報を利用でき、自分でカスタマイズできるポータル。
- * リポジトリ … インターネット上の保存書庫



新任職員紹介 矢田 貴史

医学分館で、主に利用者サービスを担当していますが、医学分館は職員が少ないこともあり、業務は多岐にわたります。4月から図書館で働き始めて8ヶ月が経ちましたが、新しいこと、分からないことの連続で、自分の勉強不足を痛感する毎日です。

せめてカウンター当番の時は、(多少暇そうに見られてもいいので)利用者の方が声を掛けやすい雰囲気を出したいところなのですが、実際はなかなかそうもいきません。パソコンをにらみながら、仏頂面でいることが多いような気がします。もう少し、効率よく余裕をもって業務にあたれるようにしたいところです。

図書館が、利用者の方にとって気持ちよく、より使いやすいものになるよう今後も努力していきますので、よろしくお願いいたします。また、皆さんの協力も、図書館をより良くするための重要な要素です。図書館への希望や意見も積極的にお寄せください。

(やだ たかふみ)



新任職員紹介 金田 紀子

平成17年4月に図書館職員として採用された新人です。外国雑誌・電子ジャーナルの契約実務を担当しています。“図書館職員”というと、カウンターに座っていて本の貸出・返却などの手続きをしてくれる人、とイメージされる方が多いと思います。そこで、この場を借りて私の仕事について少し紹介したいと思います。

“電子ジャーナル”と聞いて“?”と思われる方もいるかもしれません。電子ジャーナルは、簡単に言うとパソコンを使って読む雑誌のことです。論文がデジタルデータで収集・蓄積されていて、利用者はそこから必要な論文の全文をダウンロードすることができます。その電子ジャーナルを利用するためには、ライセンス契約というものが 필요합니다。紙の雑誌であれば“冊子”という目に見える物体があり、それを収集・保存・提供することになります。しかし電子ジャーナルはその実体がありません。この差は結構大きなもので、前例のない業務や問題点も多く発生します。また、契約方法がとても複雑なので、理解すること一つも大変です。そんな状況に悪戦苦闘しながらも、上司をはじめ周りの方々の支えがあって、日々仕事をしています。

限られた予算の中で、いかに外国雑誌・電子ジャーナルを契約して提供できるかが、目下の課題です。私達の努力はもちろんですが、皆さんに利用していただくことによって、導入できるジャーナルを増やすことができるかもしれません。

図書館では、様々な方法で目的の資料を見つけることができます。大いに活用していただき、充実した環境の中で研究活動をより有意義なものにしてください。私は少しでもそのお手伝いができるよう、これからもがんばっていきたいと思っています。

(かねだ のりこ)

Library Column



TOEICを楽しむために

総務係 木佐剛典

<はじめに>

試験というのは気の重いものですね。でも、少し気持ちを切り替えてみましょう。TOEICは合格、不合格の結果を出す試験ではなく、受験すれば必ずスコアという実績が残せます。そしてより高いスコアを目指して挑戦する試験です。気持ちの持ち方しだいでスポーツかゲームのような感覚で楽しむこともできます。

どんな試験も、スポーツの試合と共通したところがあります。まず基本を身に付け、練習し（試験勉強）試合（試験）で全力を尽くします。受験の後、この全力を尽くした後の爽快さは何にも代えがたいと思っています。練習の成果があつてよい結果が出たときの達成感は格別。充分な練習をしてスコアが上がっていけば、面白くてやめられなくなります。

まして通用範囲の広い英語を身に付けるということは、コミュニケーションを取れる範囲が広がる楽しみがあります。世界中大方どこへでも自由に行けることになります。

今やTOEICは、実用英語検定や国連英検をしのぐ知名度と信頼性を得ています。海外との関わりの多い企業や外資系企業の求人では、必ずと言っていいほど TOEIC のスコアが問われます。

では、私が体得した TOEIC の挑戦方を紹介しましょう。私はこの勉強方で TOEIC 925 点（リスニング満点）と国連英検 A 級を取得しました。トレーニング方法の一例として読んでみてください。

<長期的な対策法です>

1. 1日30分
2. 1日4食



1. 1日30分

たとえば、朝30分早起きしてみましょう。朝食後、まず10分程度CDを使ってリピート練習またはCDからの声を聞きながら同時に音読します。毎日続けて例文をほとんど暗誦できるようになってください。これは英文のパターンとネイティブの発音をおぼえるためです。正しく発音された時どんな音になっているかわからなくてはリスニングはできません。CDプレイヤーでは好きなところまで巻き戻せないの、私はPCを使っています。

次の10分はディクテーション。リーディングで耳が慣れたところで、短い英文を聞き取って書きます。経験上これはリスニングの向上に効果的です。さらに、書くことで英文のパターンも頭に入ります。最初に外国へ出かけた時は、ネイティブの言葉を聞いて理解できないのに驚くものです。リスニングは重要なパートです。当たり前ですが、知らない言葉は聞いてもわかりません。リスニング強化には、語彙を増やすこと、後述のように洋書を読んで英文のパターンに慣れることも重要です。英語を聞いても読んでも日本語に訳して考える段階から、英語を「英語の語順で」「英語のまま」理解できるステップへ進んでください。

最後の10分で、TOEIC問題集をやって問題のパターンに慣れます。リスニングだとだいたい10分で1パート終了です。リーディングはできるところまで。ただし解説は丁寧に読んで、間違えた理由を理解してください。

もちろん朝に弱い人や、朝時間が作れなかった時はどの時間帯でもかまいません。毎日続けるのが大切です。

***TOEICの問題集はやりっぱなしにしない。**音読、ディクテーションの教材として再利用できます。たとえば、長文聴解のPART4 の問題文を音読用の教材に使ったり、会話文聴解のPART3ならリピート練習に、PART2ならディクテーションに。といった使い方ができます。

2. 1日4食

3食の他に「横文字の食事」を摂りましょう。1日30分くらい英語の本を読んで、英語を英語のまま理解するための訓練にします。読みなれてきて英語を日本語に訳さず、英語のまま理解できるようになれば、リーディングだけでなくリスニングも向上します。毎日読んで1冊読破すると、確実に実力がつきます。インターネットのアマゾンで適当な本が探せます。しかもアマゾンは安くて早い。現代的で簡単な英文の本を多量に読むことが速読の上達法です。

***私が面白いと感じた作家はまず、Sidney Sheldon（シドニー・シェルダン）。If Tomorrow Comes（明日があるなら）、Master of the Game（ゲームの達人）などの作者で、読みやすい英文とスリリングなストーリーで一気に読めます。どれを読んでもあたり外れなく面白く、夢中になれます。**

それから読みやすいのは、Danielle Steel。女性作家です。読みやすく書いてありますので速読の練習

には向いています。アマゾンの検索欄で洋書を選んで、“Sidney Sheldon”とか、“Danielle Steel”と入力して検索してみましょう。

＜楽しい勉強法＞



外国語・外国文化に興味を持つのが一番

1. 映画を見る。字幕を見ながら英語の台詞を聞き取ってみましょう。日本語の字幕は原語より一呼吸早く出ますので、素早く字幕を読んでから台詞を良く聞いていると、「なるほど。こんな時にはこう言うんだ。」とわかってきます。
2. 外国人留学生と話してみましょう。彼らも日本人と友達になりたがっています。話題はお天気からはじめてもいいし、お互いの出身地の話も興味がわくはず。いい友達を作って、相手のことを知りたいと思うことが外国語上達の最上の早道です。日本語、英語チャンピオンの会話でもいいと思います。

＜手っ取り早いTOEIC対策＞

1. リスニングのPART3(会話聞き取り)とPART4(長文聞き取り)は、2,3問先の選択肢を読んで

先回りする。2,3問に1問正解しても、最大7～10問は正解できます。問題文を聞く前に選択肢を先読みできた問題は正解率が高いです。解ける問題を確実にゲットしてください。

2. リーディング問題にきたら、PART7の長文問題の最後の2,3文(4～5問)を最初にやってみる。この最後に出てくる設問は意外と簡単。この問題まで行き着く人は少数と思えるので、配点が高いかもしれません。(裏技です。邪道かも。)

＜傾向は変わっても＞

以上が私が体得した勉強方です。もっとも大切なのは基本をしっかり身につけること、英語に慣れることです。TOEICの出題形式は来年5月の試験から変わることになっています。私も公式サイトから例題をダウンロードして解いてみました。これまで以上に速読力と持久力、集中力が求められる内容になるようです。ただし、しっかりした基礎力さえ身につけていれば、出題形式が変わろうと関係ありません。こつこつと実力を身につけましょう。

今スコアが低い人は、基礎力を身に付けて英語に慣れていけば、信じられないほどスコアが向上することがあります。スコアが低い人ほど急角度に伸びるものです。

(きさ たけのり)

図書館からのお知らせ



● 学生との懇談会を開催しました ●

(利用サービス係・医学情報管理係)

本館では、利用者に気持ちよく図書館を使ってもらうため、資料、施設、サービス等についての意見を聞く会を、7月13日に開催しました。学生11名、館長を含む職員9名でお茶を飲みながらの和やかな会となりましたが、頂いた意見は厳しいものもあり、できることから実現にむけ努力することを約束し、閉会しました。

医学分館では6月14日に、医学科・看護学科の2年生から6年生まで7名の学生を迎え、分館運営委員及び分館事務職員との懇談会を開催しました。これは分館運営委員からの提案で、図書館に対する学生の率直な意見を聞くことにより、サービス向上につなげようというものです。約1時間半にわたって活発な話し合いが行われ、図書資料への要望、閲覧席の不足などの意見をいただきました。

今後でもできるだけ利用者の声に耳を傾け、多くの方に快適に利用してもらえるように改善していきたいと考えています。



● 電子ジャーナル説明会を開催しました ●

(電子情報係)

データベースと電子ジャーナルの利用者向け説明会を、6月末から7月中旬にかけて、本館と医学分館で各々開催しました。各提供元から講師に来ていただき、本館では総合的な説明を、医学分館では医学分野に関係するトピックを盛り込んだ説明会となりました。

講習会の模様はWebで配信していますので、いつでも見ることができます。また、講習会のテキストもダウンロードできますので、テキストを参照しながら学習することができます。

図書館HPの「利用案内→学術情報リテラシー→講習会ビデオ」をご覧ください。

データベース

(参加者)

Scopus	引用文献データベース (自然科学, 工学, 医学分野, 社会科学) *全学で利用できます	本館15名 医学分館11名
Web of Knowledge	引用文献データベース (人文・社会科学を含む全分野) *本学では未導入です	本館21名 医学分館13名
JDream	文献検索データベース (科学技術, 医学分野) *松江キャンパスで利用できます	本館8名 医学分館6名

電子ジャーナル

Science Direct	約1,800タイトル *全学で利用できます	本館14名 医学分館4名
LINK	約1,200タイトル *全学で利用できます	本館7名 医学分館6名



● 検索講習会を開催しました ●

(利用サービス係・学術情報係・医学情報サービス係)

本 館

講習会名	開催月	対 象 者	参加者	内 容
授業連携	4～5月	法経学科1年 電子制御システム工学科1年 農業生産学科2年	95 81 39	OPAC利用指導 図書館ツアー等
図書館ツアー	10月	化学分野1年	80	図書館利用法
OPAC・ 情報検索講習会	5～6月 10～11月	学部学生 大学院生全般	16	利用指導 OPAC利用指導 データベース利用指導 図書館ツアー等

医学分館

講習会名	開催月	対 象 者	参加者	内 容
看護に活かす 文献検索研修会	4月	島根県看護協会会員	78	医中誌Web, CiNii
図書館ツアー	5月	新入生	14	図書館利用法
文献検索講習会	5月 5月 6月 10～12月	附属病院職員 医学科5年 医学系研究科看護学 医学科3年生講座配属者	8 3 4 54	PubMed, 医中誌Web OPAC検索法 CINAHL 文献の入手法等
授業連携	5～6, 11月 5～7月 6月	医学科1年「医学英語」 看護学科3年「原書講読」 看護学科2年 「看護研究の基礎Ⅰ」(2回)	29 83 140	PubMed, 医中誌Web CINAHL OPAC検索法 文献の入手法等
日精看認定研修 「看護研究 文献」	6月	日本精神科看護技術協会認定 研修対象者	40	医中誌Web, CiNii

● インターンシップ学生を受け入れました ●

(総務係)

8月16日から22日まで、本館でインターンシッププログラムを実施し、総合理工学研究科の学生1名を受け入れました。附属図書館としては初の試みでした。図書館職員の指導を受けながらカウンターで利用者に接したり、書架の整理をしたり、コンピューター端末を相手に図書の登録などの仕事に取り組みました。

日頃は職員と利用者という関係で学生に接する職員にとって、学生と一緒に仕事をする機会は貴重で、現代の若者気質を知る良い機会になりました。

● 職員の名札着用 ●

(総務係)

10月1日から、附属図書館職員も全員名札を着用することとなりました。松江キャンパスでは学生センターなどでおなじみの大判のもので、名前も大きめの文字で書いてあります。名札を見たら気軽に「○○さん」と声をかけてください。

● 図書館見学実施状況 ●

(利用サービス係)

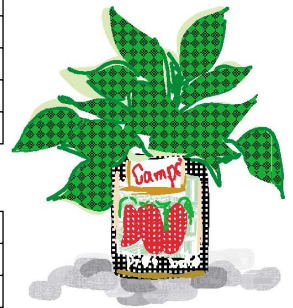
図書館では、広報のために随時見学を受け付けており、様々な団体からの見学や視察が行われました。

見 学

月 日	見 学 者	人 数
4月25日	米子市立淀江中学校	5
6月7日	松江市立川津小学校3年生	31
8月3日	オープンキャンパス(医学分館)	63
8月4日	オープンキャンパス(本館)	242
9月22日	松江市立鹿島中学校1年生	12
10月27日	中国浙江大学教育学院 副院長・教授	4
11月13日	岡山県立総社高等学校PTA	49
11月15日	島根県立大社高等学校生徒	70

視察等

月 日	見 学 者	人 数
7月29日	文部科学省 国会連絡調整室長	1
11月7日	JABEE学外審査員	6
11月9日	厚生労働省	2



● 図書館システムリプレース予告 ●

(電子情報係)

平成18年3月に、図書管理業務、閲覧業務、所蔵検索サービスなど、図書館で行っている業務を処理するためのシステムが更新されます。現在は、本館と医学分館ではそれぞれ別のシステムを使って業務処理を行っていますが、今回のシステム更新で一本化され、効率化を図るとともに、図書館の情報を包括的に提供できるようになります。例えば所蔵検索(OPAC)は、現在本館と医学分館では検索方法が異なりますが、今回の更新により一括して検索することができるようになります。

新しいシステムの詳細については、今後ホームページ及びメール等でお知らせする予定です。2月の最終週はシステムを全面停止する予定ですので、円滑な移行のために、次の点についてご協力をお願いします。

- 図書の購入申込み・・・できるだけ1月中にお願いします。
- 図書館利用証・・・教職員(松江キャンパスでは、今後発行予定の庁舎管理システムのカードを検討しています。出雲キャンパスは、磁気仕様のカードに切替わる予定です。)
 - 学 生(出雲キャンパスでも学生証で貸出できるようになります。)
- 3F情報検索講習会室及び1F学習室(本館)・・・移転工事のため、2月中は利用できません。

本館(松江キャンパス)

● 学推会から図書を寄附していただきました ●

(図書情報係)

昨年度に引き続き、島根大学学生生活推進会(学推会)より学生用図書91冊を寄附していただきました。厚く御礼申し上げます。学生の目線で選書していただいたものですので、どんどん利用してください。

● 「学生選書ツアー」を実施しました ● (図書情報係)

8月4日、9名の学生と市内の書店へ出掛け、実際に本を手に取りながら約1時間、100冊あまりの図書を選書しました。自分の授業や専門分野だけでなく、図書館にあると良い本、他の学生に薦めたい本なども選ばれ、初めての選書体験に真剣に取り組んでいただきました。また参加したいとの声が多かったので、来年度も企画したいと思います。興味のある方はぜひ参加してみてください。

● 希望図書は「図書購入リクエスト」へどうぞ ● (図書情報係)

図書館で購入して欲しい図書がありましたら、ホームページ「申込み→図書購入リクエスト」で希望を受け付けています。11月末までで150件ほどのリクエストをいただいています。高価なもの、専門的すぎるもの、趣味的なもの、1度にたくさんのリクエスト等には応じられないこともありますのでご了承ください。

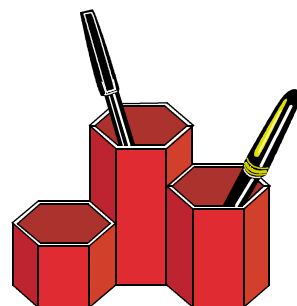
● 8:30開館を試行中 ● (利用サービス係)

平成17年度から授業開始時間が8時30分になったため、合わせて開館時間も早めて欲しいという希望が多数寄せられていました。ご希望に沿うため、9月26日から8時30分開館の試行を始めました。今年度の利用状況をみて、次年度以降の開館時間を検討したいと考えています。

● 製本雑誌のデータ入力が完了しました ● (雑誌情報係)

1931～1982年に製本された約63,000冊(約6,000タイトル)の製本雑誌の所在を確認し、データを入力しました。すでに製本されている雑誌を探す場合は、OPACの製本情報を活用してください。

なお、確認作業では、利用者・研究室の皆様にご協力頂きありがとうございました。



医学分館 (出雲キャンパス)

● 利用案内を発行しました ● (医学情報サービス係)

4月に「島根大学附属図書館医学分館利用案内」を発行しました。A4版三つ折タイプに、開館時間や貸出条件、開館時間外特別利用など図書館サービスについて案内しています。カウンター前で配付しています。

また、8月には留学生・研究生の便宜をはかるため、英語版の利用案内(User's Guide)を作成しました。

● 机の増設、掲示板の設置を行いました ● (医学情報サービス係)

6月に、3階自由閲覧室の2人用閲覧机4台を1人用閲覧机8台に切り替え、実利用の増加を図りました。

また、3階自由閲覧室には固定掲示板がなく、学生休業期の臨時閉室のお知らせなどは、入口ドアに直接掲示していましたが、入口脇廊下に掲示板を取り付け、図書館からの連絡を見やすくしました。

● 「本の交換広場」を開設しました ● (医学情報サービス係)

6月より、用済みとなって眠っている個人の本をお互いに有効活用できるよう、図書館棟3階への階段口に「本の交換広場」コーナーを設けました。利用は自由・無償が原則で、雑誌は対象としません。

[表紙写真 落合輝満]

編集後記

地域とともに歩む大学を目指し、今年は附属図書館主催で小泉八雲関係、大森文庫関係、絵図の3つの展示会・講演会を開催し、好評を得ました。来年も学生や地域の皆様楽しんでいただけるような企画を計画したいと考えています。乞うご期待!! (M.O 記)

島根大学附属図書館報「淞雲」 第5号
平成17年12月発行

発行 島根大学附属図書館編集委員会

本館 〒690-8504 松江市西川津町1060

TEL (0852) 32-6083 FAX 32-6089

医学分館 〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

TEL (0853) 20-2092 FAX 20-2095